

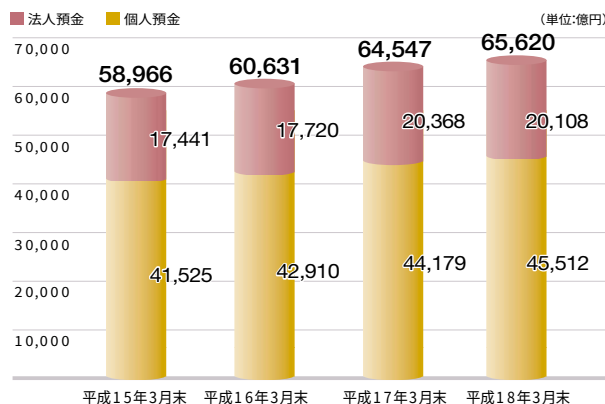
預金の状況

■預金残高(期末残高)

預金は、個人流動性預金を中心に着実に増加を続けており、期末残高は前年比1,073億円増加し6兆5,620億円となりました。

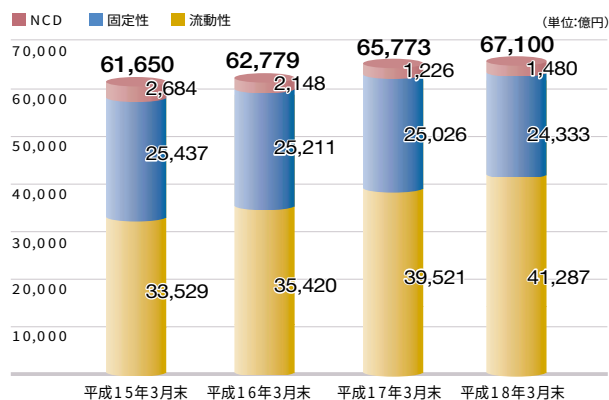
個人預金は、前年比1,333億円増加し4兆5,512億円となり、法人預金は、前年比260億円減少し2兆108億円となりました。

※法人預金には、公金預金及び金融機関預金を含んでいます。



■総資金残高(期末残高)

預金残高に譲渡性預金(NCD)を加えた総資金ベースにつきましては、前年比1,327億円増加し6兆7,100億円となりました。



資産運用商品の状況

■個人預かり資産残高(期末残高)

お客さまの多様化する資産運用ニーズに積極的にお応えしました結果、資産運用商品(投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債)は期中3,405億円を販売するなど、順調に推移しています。

個人預かり資産の残高は、前年比2,137億円増加し6,669億円となり、また、個人預金に対する割合も同4.4%上昇し14.7%となりました。

